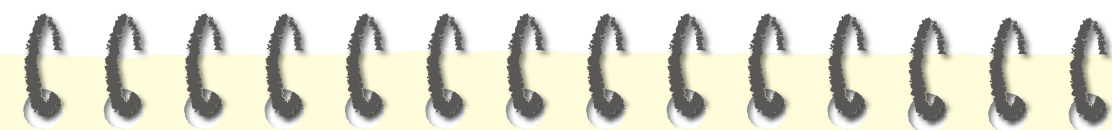
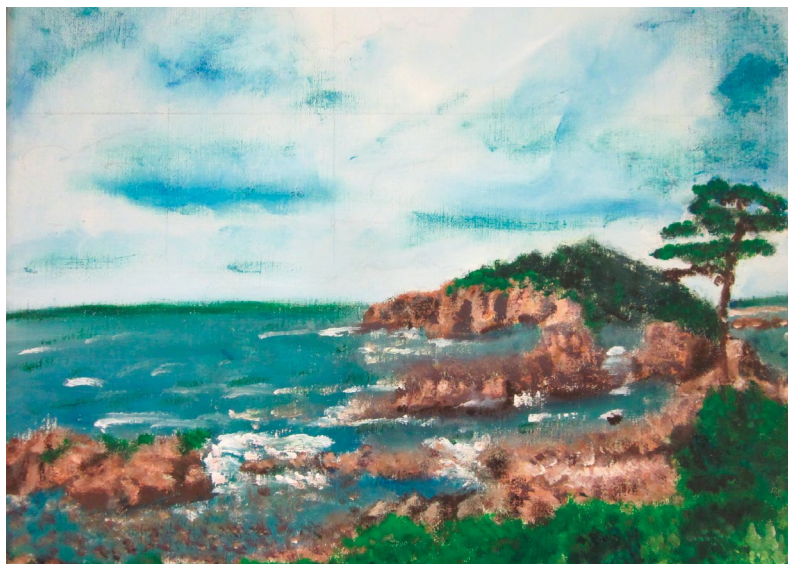


1989年（平成元年）にパーキンソン病を発症しました。手が震えても描き直すことのできる油絵を周囲から勧められ、描きはじめました。小さいときから絵を描くことは好きでしたが、本格的に描くようになったのは病気になってからでした。アマチュア美術展に連続入選できたことで、病気に負けないという気力が出来たように思います。海が大好きで、春夏秋冬で波の色が変化するのを見ていると心が癒されます。（小坂義孝）



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



H. T. 氏 「パーラービーズのパッチワーク」

パーラービーズの六角形の型を使ってつくりました。たくさん並べて上から写真を撮ってもらいました。

一つずつの六角形は五色の色でつくられています。最初に色の同じビーズを三十五個ずつ取りました。そしてそれぞれの色を順番に外から内へうずまき状に並べました。これは自然にできた模様です。たくさん並べてみると、とても気に入りました。みんなも「きれいだね」と言ってくれました。

何個もつくって、アイロンがうまくかけられるようになりました。ビーズの並べ方の失敗もなくなりました。今は革細工とドリルをやっています。（H. T.）